

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(40歳代男性)ありました。症状は発熱・咳・肺炎・菌血症で、感染経路は不明です。この感染症の本年の累積報告数は51例となり、昨年一年間の報告数に並びました。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は初期硬結・硬性下疳で、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は16例となっています。梅毒の感染経路や治療、予防等に関して「梅毒に関するQ&A」としてまとめられていますので、以下のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.57(108例)となり、増加が続いています。近畿6府県の定点当たり報告数を見ると、和歌山県は7.68で警報レベルである「6」を超えました。また、大阪府は5.78、滋賀県は5.38と警報レベルに迫る勢いで増加していることから、今後の発生動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス:<侵襲性肺炎球菌感染症>

- ・ 本市における侵襲性肺炎球菌感染症の報告数は年々増加し、本年の累積報告数は51例となり、昨年1年間の報告数に並びました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 1例, その他結核2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 180例(肺結核 97例, その他結核 38例, 潜在性結核感染者 45例)うち喀痰塗抹陽性46例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 51例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症梅毒)1例【1月以降の累積報告数 16例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.02	253
	② ヘルパンギーナ	2.57	108
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	59
	④ 手足口病	1.26	53
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.83	35
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

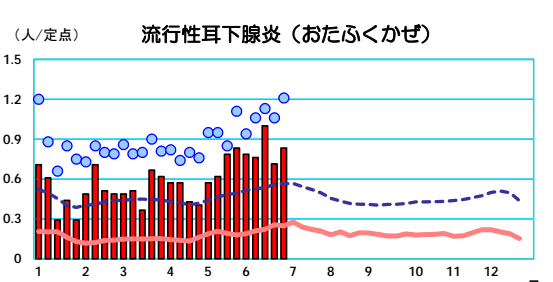
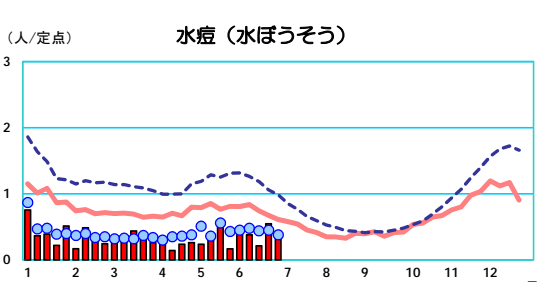
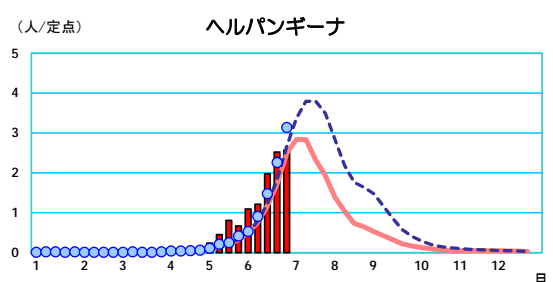
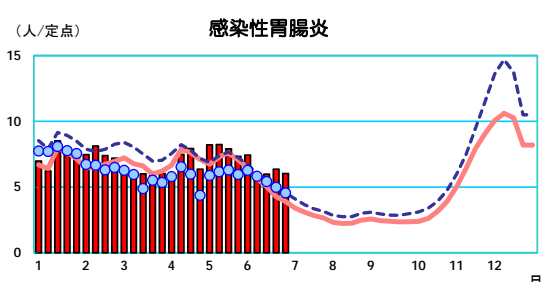
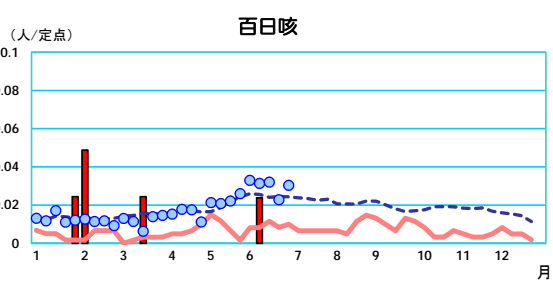
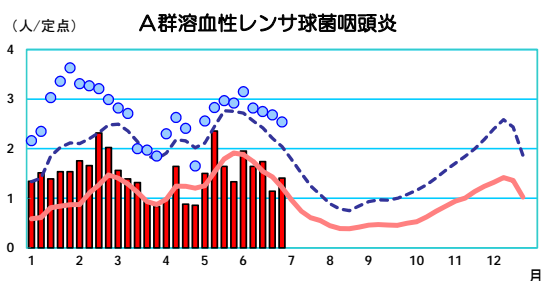
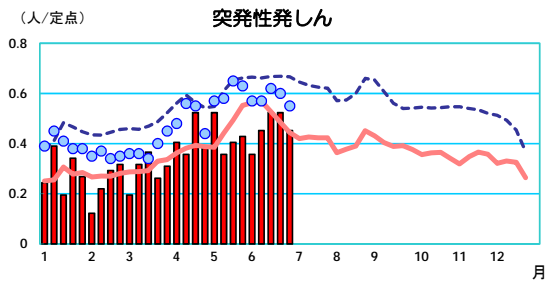
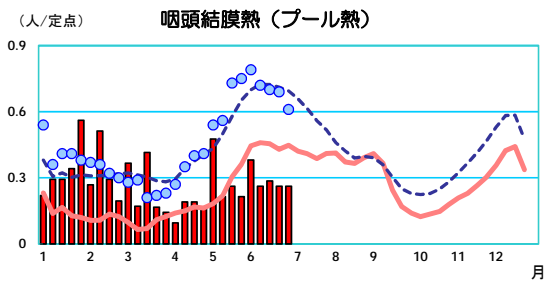
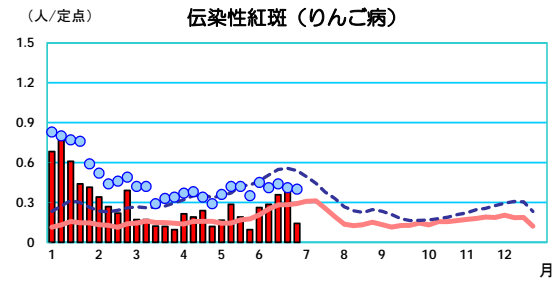
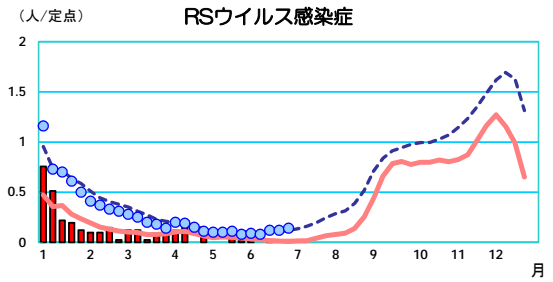
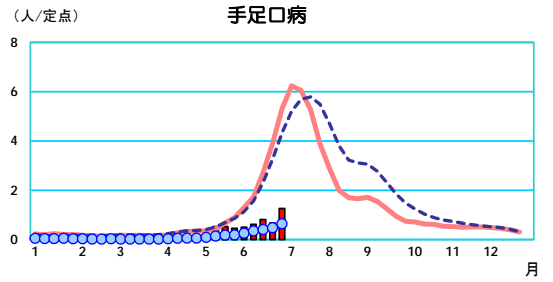
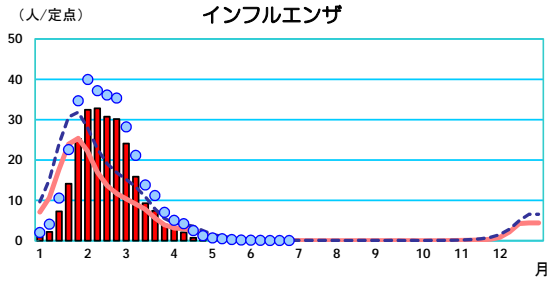
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<侵襲性肺炎球菌感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年7月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）

■ 京都市_本年 — 京都市_過去5年平均値
● 全国_本年 - - - 全国_過去5年平均値



第27週(7月4日～7月10日)トピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市の発生動向

本市における侵襲性肺炎球菌感染症の報告数は年々増加し、本年の累積報告数は51例となり、昨年1年間の報告数に並びました(図1)。五類感染症に指定された平成25年4月から本年の第27週までに京都市に報告のあった患者の年齢分布を年別で見ると、平成26年以降はいずれも60歳以上の高齢者の報告数が全報告数の60%以上を占めています(図2)。本年、京都市に報告のあった51例のうち4歳以下の報告例6例はすべてワクチン接種を行っていましたが、60歳以上の報告例34例ではワクチン未接種または接種歴不明が90%以上(31例)でした(図3)。高齢者に対するワクチンが定期接種化されましたが、まだまだ浸透していないことがうかがわれます。

症状

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。小児では肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした感染単のはっきりしない菌血症例が多く、成人では発熱、咳嗽、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多くみられます。髄膜炎などの重篤な症状を起こすこともあります。この感染症は、5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く感染することが知られています。

予防

ワクチン接種により、重篤化するリスクを95%以上減らせるといわれています。予防接種法改正により、平成25年4月から小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化、平成26年10月からは高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は、下記ホームページをご参照ください。

○京都市情報館ホームページ

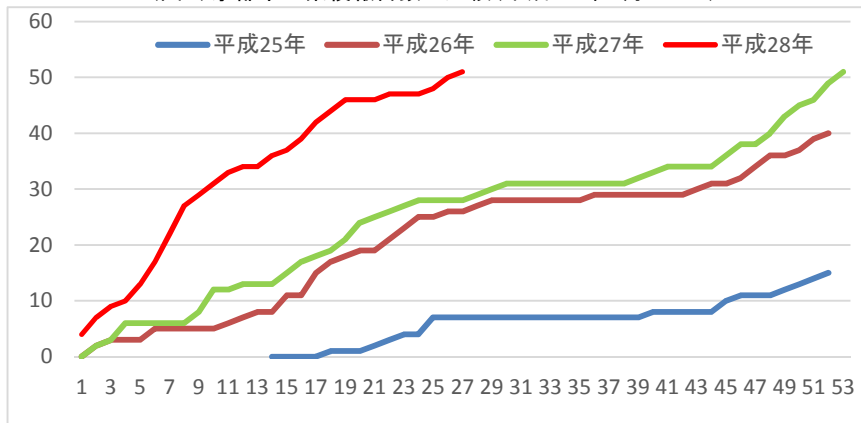
「京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

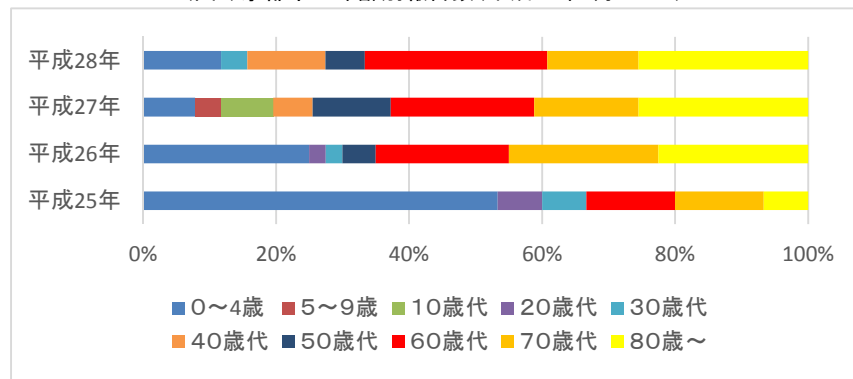
「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

(図1)京都市の累積報告数の比較(平成25年4月1日～)



(図2)京都市の年齢別報告数(平成25年4月1日～)



(図3)4歳以下と60歳以上の報告例のワクチン接種回数(27週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第27週

平成28年7月4日～平成28年7月10日

データ入手日:平成28年7月14日

疾病,行政区別報告数

男女合計	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
北	-	-	4	1	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-					
上京	-	-	-	2	5	-	1	-	1	-	3	-	-	-					
左京	-	-	-	7	43	4	8	2	4	-	2	3	-	-					
中京	-	1	1	1	10	1	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	3	26	-	2	-	-	-	1	-	-	-					
山科	-	-	-	7	5	-	7	-	1	-	10	2	-	-					
下京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-					
南	-	-	1	2	8	4	1	-	1	-	22	-	-	-					
右京	-	-	1	12	62	2	5	1	4	-	15	7	-	2					
伏見	-	-	4	8	63	5	22	1	7	-	41	7	-	1					
西京	-	-	-	15	30	2	7	2	1	-	8	12	-	-					
京都市計	1	1	11	59	253	18	53	6	19	-	108	35	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
北	-	-	1.00	0.25	0.25	-	-	-	-	-	0.25	0.50	-	-					
上京	-	-	-	0.67	1.67	-	0.33	-	0.33	-	1.00	-	-	-					
左京	-	-	-	1.75	10.75	1.00	2.00	0.50	1.00	-	0.50	0.75	-	-					
中京	-	0.33	0.33	0.33	3.33	0.33	-	-	-	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	1.50	13.00	-	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-					
山科	-	-	-	1.75	1.25	-	1.75	-	0.25	-	2.50	0.50	-	-					
下京	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	0.50	-	-					
南	-	-	0.33	0.67	2.67	1.33	0.33	-	0.33	-	7.33	-	-	-					
右京	-	-	0.20	2.40	12.40	0.40	1.00	0.20	0.80	-	3.00	1.40	-	2.00					
伏見	-	-	0.57	1.14	9.00	0.71	3.14	0.14	1.00	-	5.86	1.00	-	0.50					
西京	-	-	-	3.00	6.00	0.40	1.40	0.40	0.20	-	1.60	2.40	-	-					
京都市計	0.01	0.02	0.26	1.40	6.02	0.43	1.26	0.14	0.45	-	2.57	0.83	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第27週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年7月4日～平成28年7月10日

データ入手日:平成28年7月14日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	1	2	4	1	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		59	-	1	-	2	4	13	12	9	5	6	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		253	4	22	45	23	26	14	15	19	12	6	12	24	9	22	-	-	-	-	-	-
水痘		18	-	1	3	3	1	-	-	3	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	53	1	3	10	16	6	6	2	2	3	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		6	-	-	-	-	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	1	8	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		108	-	17	25	34	10	12	6	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		35	-	1	-	2	3	1	5	9	6	4	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.05	0.10	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.40	-	0.02	-	0.05	0.10	0.31	0.29	0.21	0.12	0.14	0.02	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.02	0.10	0.52	1.07	0.55	0.62	0.33	0.36	0.45	0.29	0.14	0.29	0.57	0.21	0.52	-	-	-	-	-	-
水痘		0.43	-	0.02	0.07	0.07	0.02	-	-	0.07	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1.26	0.02	0.07	0.24	0.38	0.14	0.14	0.05	0.05	0.07	-	-	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.14	-	-	-	-	0.05	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.45	0.02	0.19	0.19	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2.57	-	0.40	0.60	0.81	0.24	0.29	0.14	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.83	-	0.02	-	0.05	0.07	0.02	0.12	0.21	0.14	0.10	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第27週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年7月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	6	8	1	-	-	1
RSウイルス感染症	1	1	-	1	-	1
咽頭結膜熱	9	16	11	12	11	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	82	69	73	48	59
感染性胃腸炎	308	312	250	251	267	253
水痘	7	18	16	9	23	18
手足口病	19	21	26	34	28	53
伝染性紅斑	4	11	12	15	17	6
突発性発しん	18	15	19	22	22	19
百日咳	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	46	51	83	106	108
流行性耳下腺炎	35	33	32	42	30	35
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	2	3	4	4	3
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	495	565	491	546	556	567

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.09	0.12	0.01	-	-	0.01
RSウイルス感染症	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02
咽頭結膜熱	0.21	0.38	0.26	0.29	0.26	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.95	1.64	1.74	1.14	1.40
感染性胃腸炎	7.33	7.43	5.95	5.98	6.36	6.02
水痘	0.17	0.43	0.38	0.21	0.55	0.43
手足口病	0.45	0.50	0.62	0.81	0.67	1.26
伝染性紅斑	0.10	0.26	0.29	0.36	0.40	0.14
突発性発しん	0.43	0.36	0.45	0.52	0.52	0.45
百日咳	-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.67	1.10	1.21	1.98	2.52	2.57
流行性耳下腺炎	0.83	0.79	0.76	1.00	0.71	0.83
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.20	0.30	0.40	0.40	0.30
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.03	13.53	11.91	13.30	13.54	13.72

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。